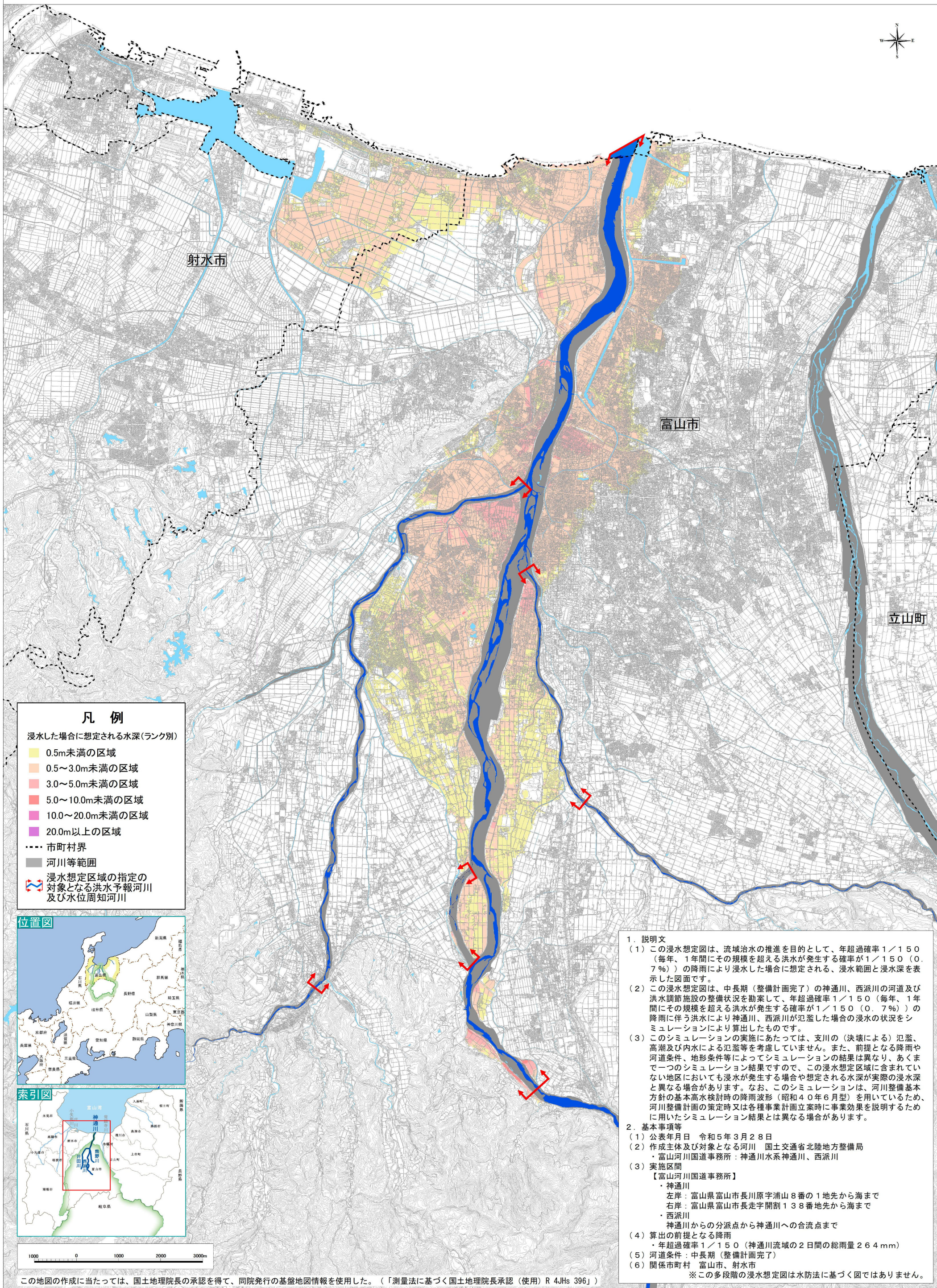


神通川水系 国管理河川の浸水想定図(1/150規模降雨) 【中長期河道】

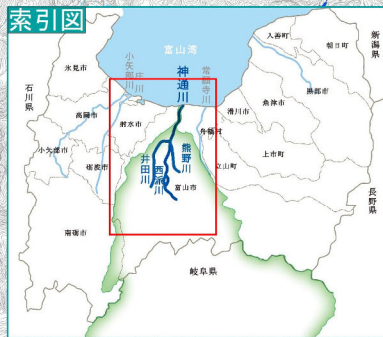


凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 5.0~10.0m未満の区域
- 10.0~20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域

- 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川及び水位周知河川



0 1000 2000 3000m

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 4Jhs 396」)

1. 説明文

- (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
- (2) この浸水想定図は、中長期(整備計画完了)の神通川、西派川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%))の降雨に伴う洪水により神通川、西派川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定区域に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和40年6月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等

- (1) 公表年月日 令和5年3月28日
- (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省北陸地方整備局
・富山河川国道事務所: 神通川水系神通川、西派川
- (3) 実施区間
【富山河川国道事務所】
・神通川
左岸: 富山県富山市長川原字浦山8番の1地先から海まで
右岸: 富山県富山市長走字開割138番地先から海まで
・西派川
神通川からの分派点から神通川への合流点まで
- (4) 算出の前提となる降雨
・年超過確率1/150(神通川流域の2日間の総雨量264mm)
- (5) 河道条件: 中長期(整備計画完了)
- (6) 関係市町村 富山市、射水市
※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。